

平成23年度

# 決算見込み について



第271回理事会の模様

## 平成23年度決算見込の概要

昨年12月8日に第271回理事会が開催され、当組合の平成23年度の決算見込が承認されました。

### 〈一般勘定（健康保険）〉

一般勘定の収入は、標準報酬月額を持ち直しにより、保険料収入が約4600万円の増収となり、別途積立金の繰入額を2億円減したことにより、収入全体としては予算より1億6615万円少ない、160億417万円の決算見込となりました。

支出は、医療費が約3600万円増の82億8843万円（前年度比6.98%増）、納付金等は1520万円減の61億4448万円（前年度比4.88%増）となり、支出全体としては予算より3億1539万円少ない、158億5493万円（前年度比5.97%増）の決算見込となりました。

収支差引額は1億4924万円で、経常収支差引額8億8971万円の赤字決算見込となりました。

### 〈介護勘定（介護保険）〉

介護勘定の収入は、一般勘定と同様に保険料収入が約2100万円の増収となり、収入全体としては予算より2130万円多い、14億1962万円の決算見込となりました。

支出は、介護納付金が228万円減の13億

9503万円（前年度比6.40%増）となりましたが、支出全体としては予算より277万円少ない、13億9554万円（前年度比6.40%増）の決算見込となりました。

収支差引額では2407万円となる決算見込となりました。

## 保険料率の引上げについて

今年度は、実質保険料率89%を別途積立金の繰入により、85%に抑えて保険料率の引上げを行いました。

平成24年度の一般勘定予算は、標準報酬月額の持ち直しにより、保険料収入全体としては回復基調にあります。医療費や納付金等の増加、2年ごとの診療報酬および介護報酬の改定や、加入事業所の異動等が予定されていることから、組合運営のためには85%から95%前後への保険料率の引上げが必要となります。

また、介護保険料率については、法定準備金の繰入により上げ幅を2%に抑えましたが、介護保険第2号被保険者数の増加に伴う介護納付金の増加により、12%から14%への保険料率の引上げが必要となります。

なお、保険料率については、平成24年2月16日に開催予定の組合会において決定されます。

詳細につきましては、『計機健保連絡報』および次号の機関誌「すこやか」（4月発行）にてご報告いたします。